

[プロフィール]

栗田暢之／くりたのぶゆき

特定非営利活動法人レスキューストックヤード代表理事

1964年10月22日生（47歳）／岐阜県瑞穂市（旧：穂積町）出身／名古屋市中川区在住

最終学歴／名古屋大学大学院環境学研究科修了・修士（環境学）

□事務所住所（勤務先）

〒461-0001 名古屋市中区泉1-13-34 名建協2階

TEL：052-253-7550 FAX：052-253-7552 E-mail：info@rsy-nagoya.com

1995年阪神・淡路大震災時に当時勤務していた大学の学生ら延べ1,500名のコーディネーターとして被災者支援にあたったことを契機に、同年7月に設立したボランティア団体「震災から学ぶボランティアネットの会」の事務局長に就任。2002年3月に同会を発展的に解消して「特定非営利活動法人レスキューストックヤード」が認証され、同法人の常務理事兼事務局長を経て現在に至る。現在までに約35箇所の地震・水害・噴火等の被災地で支援活動を行う一方、災害に強いまちづくりや人づくりの各種事業にも多く携わる。また国や自治体などの防災や災害ボランティア等に関する各種委員会の委員も歴任。2000年東海豪雨水害「愛知・名古屋水害ボランティア本部」の本部長、2011年東日本大震災では、全国650以上のNPO・NGO・ボランティア団体等で構成する「東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）」の共同代表世話人も務める。

[職歴] 1987年4月～2001年8月 学校法人同朋学園職員

2001年9月～現在に至る 特定非営利活動法人レスキューストックヤード専従職員

（法人認証は2002年3月）

[学会等] 日本自然災害学会、日本災害情報学会、日本災害復興学会理事・復興支援委員会委員長、関西学院大学災害復興制度研究所研究員

[非常勤講師] 京都大学防災研究所、名古屋大学、至学館大学・同短期大学部

[市民活動等] 東日本大震災支援全国ネットワーク共同代表世話人、震災がつなぐ全国ネットワーク代表、愛知県被災者支援センター共同センター長、東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや事務局長、社団法人減災・復興支援機構理事、特定非営利活動法人ボランタリーネイバーズ、特定非営利活動法人市民フォーラム21・NPOセンター、特定非営利活動法人NPO愛知ネット各評議員

[委員委嘱]

- ・ 内閣府／中央防災会議「地方都市等における地震防災のあり方に関する専門調査会」、防災ボランティア活動検討会、防災教育チャレンジプラン実行委員会
- ・ 愛知県／愛知県地震対策有識者懇談会、あいち防災協働社会形成推進協議会、あいち住まい・まちづくりマスタープラン検討委員会、みずから守るプログラム推進アドバイザー会議、愛知県高潮に関する検討会、防災のための愛知県ボランティア連絡会
- ・ 名古屋市／名古屋市市民活動促進委員会、名古屋市地震災害対策の強化推進に係る緊急提言会議、名古屋市地震対策専門委員会、なごや災害ボランティア連絡会
- ・ 中央共同募金会／災害ボランティア活動支援プロジェクト会議幹事
- ・ その他、国土交通省、文部科学省、防災科学技術研究所等からの委嘱経歴多数

[その他]

- ・ 震災がつなぐ全国ネットワーク発行ブックレット「物資が来たぞう!!考えたぞう!!」「水害発生! どうつくる?水害ボランティアセンター」「救援物資はもういらぬ!?!」「災害ボランティア文化」編集長
- ※ 防災功労者防災担当大臣表彰（2003年度）、名古屋青年会議所「NPOアワード優秀賞」（2002年度）、愛知県「人にやさしい街づくり賞」（2003年度）以上、法人として受賞。防災功労者防災担当大臣表彰（2005年度）あいち中越支援ネットワークとして受賞、丸八会顕彰（2011）
- ※ 愛知県知事感謝状（2000年東海豪雨水害）、岐阜県知事および高山市長感謝状（2004年度台風23号豪雨災害）、穴水町長感謝状（2007年能登半島地震）